

第3回国連防災世界会議について

○ 概要

平成27年3月14日(土)～18日(水)に仙台市を中心に開催。

第3回国連防災世界会議 全体像(イメージ)

■ 展開のコンセプト

- 東日本大震災の経験や教訓を活かした取組、復旧・復興状況を世界へ発信し、世界各国からの支援に謝意
- 仙台・東北の魅力を広くアピールし、グローバルな交流を促進
- 産学連携等により、災害関連産業の集積や新事業を創出

本体会議

- 主催: 国連
- 規模: 政府関係者等約5,000人を想定
- 目的: 次代の世界防災戦略の策定等

被災地公式視察

- 内容: 復旧・復興状況の視察(仙台市近郊)

一般公開事業

- 主催: 実行委員会、仙台市、各自治体、企業等
- 規模: 延べ4万人以上を想定

総合フォーラム(一般公開事業の中核事業)

- 主催: 日本政府、実行委員会
- 内容: 「東日本大震災の経験と教訓を世界へ」をテーマとしたシンポジウム等

シンポジウム・セミナー

防災・復興展等の展示会

歓迎事業

- 主催: 実行委員会他
- 歓迎レセプション
エクスカーション
(東北の観光地視察)
おもてなしセンター設置
歓迎装飾

○ 本県としての参画

東北各県とともに、仙台開催実行委員会に参画し、以下の事業を実施予定。

- 1 「防災公共」に係るシンポジウムの開催(3月15日(日)、八戸市、200人規模(県土整備部))
- 2 防災・復興展(仙台市)において、本県の復旧・復興状況等を情報発信
- 3 歓迎レセプションにおいて、県産品を提供
- 4 エクスカーションとして、県内の復興状況、観光地視察等のツアー(予定)

(各部局に対しての協力要請)

- ・ 防災・復興展の展示に係る素材の提供
(国内外に発信する防災・復興の取組等(例)「防災公共」、「ロジスティクス戦略」等)
- ・ エクスカーション、歓迎レセプション等歓迎事業における連携

国連防災世界会議とは

⇒ 国際的な防災戦略について議論する国連主催の会議

国連加盟国、国際機関、NGO等が参加

第1回(1994年、於:横浜)、第2回(2005年、於:神戸)の会議とも、日本で開催

第2回会議では、国際的な防災の取組指針である「兵庫行動枠組(HFA)」を策定

第3回会議では、次代の世界防災戦略となるHFA2(仮称)を策定予定